

石本米穀店

☎ 0242-22-2401

FAX0242-22-2501

定休日 日曜日・盆・正月

毎度有難うございます

第6号

平成15年 7月 1日



がんこおやじ

米屋のひとりごと

「あいづ米」は順調です

いよいよ沖繩をスタートに新米の声が聞こえてきました。が、「あいづ米」は9月中旬からひとめぼれ・コシヒカリの順で収穫予定。会津の現在は梅雨から真夏に向かう途中で順調に稲が育っており、収穫時期になりましたら新米案内を出しますので、楽しみにお待ちください。

米屋の無知な部分である、土作り・肥料や農薬の使用割合・方法は、常々プロである農家の方々の懇談の中で、お得意様に安心して食べていただける米作りを依頼・提言しています。

今は現場を預かる農民の方が、安全・安心には米屋以上に敏感な姿勢が見受けられます、頼もしいことです。

米屋の立場としては、責任のもてる・顔の見える米屋ということを意識し、気恥ずかしさがありますが、将来は顔写真や似顔絵等の掲載で親しみと信頼をお持ちいただき、これからのいっそう品質に磨きをかけます。

投稿を募集中です

仮題「わたしのひとりごと」を募集しています。

このころ思うこと・私の会津名所案内・心に残る会津路・

あいづ米の評価要望・石本米穀店の印象感想・米屋のひとりごとなどにガツンと一言など、200字程度での投稿をお待ちしています。

【心ばかりの品を用意しています】



家業の米屋に就いて三十九年。幼い頃から慣れ親しんでいた仕事とはいえ、当初は親任せの無能・無責任な小僧でした。

ミニ履歴書

趣味の運動や音楽の合間に仕事という時期もありましたが、当時の仲間との付き合いは今も続いており、いつも若さを思い出させ、好奇心を膨らませてくれます。

米屋らしくなったのは十年たった頃で、お得意様へ自分なりの責任を感じたからで、お得意様に育てられたと思っております。

二十年位前からはさらにお得意様の立場・要望を理解し、自信のある「あいづ米」作りが出来るようになったと思っております、楽しんで仕事をしている米屋です。



《会津掲示板》

当店掲載

- 7月 1日 会津ぐるっとカード新発売(JR 他) 2,600円で13市町村 2日間ローカル線電車バス乗り放題 観光施設・土産品・ホテル旅館・お食事などで各種サービスあり
- 9月22日 会津秋まつり 提灯行列
- 9月23日 会津秋まつり 會津藩公白虎行列
- 9月24日 会津秋まつり 日新館童子行列

一疊ギャラリー(店頭展示販売)

會津人の心

七月 会津ブランド唐人風・獅子風

『會津唐人風・獅子風おつまみ話』

風絵にもなっている唐人風のべろ(舌)くんだし、獅子風の彼岸獅子、どちらも会津に伝えられたとされる説があるが、今現在詳細は不明である。

風にしては珍しいとされる逸話が残っているのが唐人風、戊辰戦争で落城直前の鶴ヶ城内の子ども達が風を揚げ、會津藩士の士気を鼓舞する為と、敵に會津軍の余裕を見せつけた話である。

彼岸獅子も同じで、日光街道の田島を守った家老の山川大蔵隊が獅子を先頭に、西軍に包囲された若松城に堂々と入場した逸話が残る。

起源は別として唐人風には火伏せ、獅子風には家内安全・無病息災・五穀豊穡・商売繁盛・悪霊払い等や、新仏供養や悪疫が入ってこない様に道切りという舞を踊り、無事を祈願しているものもあるようです。

あいづ手作り工房 小杉 高



※ 掲載希望者(会社商店宣伝・行事イベント等)・お得意様からの投稿 お待ちしております